

令和5年度 倫理研修

# ACPをもっと身近に考えよう

講師 | がん相談支援センター長 医師  
**伊藤 哲**

| がん化学療法看護認定看護師  
**平松 祐貴子**

| 臨床心理士  
**梅田 佳枝**

月日 | 令和6年3月14日(木)

時間 | 17時30分～18時30分

場所 | 講堂 (稲沢市民病院2階)

対象 | 地域医療従事者の方

稲沢市民病院 教育委員会



地域の医療従事者の方が対象となっております。  
お申し込みなどの詳細につきましては、  
左の二次元バーコードの読み取りをお願いいたします。

# 病院 News.

inazawa municipal hospital news

vol. 81

2024.February

“がんの悩みを  
おひとりで抱えていませんか”

今月号は、当院の『がん相談支援センター』の役割について特集します。  
がんに関する治療、治療中の日常生活のお話や、お悩みを少しでも解消でき、  
療養生活の質の向上へのお力添えになれるように努めております。  
なお、アドバンス・ケア・プランニングについてのご相談も  
こちらでおうかがいしております。



『がん相談支援センター』のスタッフ



## がん相談支援センター

専門知識を持った看護師が中心となり、がんの患者さんと  
そのご家族のご相談をお受けしています。

あなたに合った向き合い方を一緒に考えていきます。

当院のがん相談支援センターでは、がんに関する治療や療養生活全般、地域の医療機関などについて相談することができます。主に、がんについてくわしい知識を持っている看護師や、心のケアをする臨床心理士が相談対応をしています。「がんと言われたけど、どうしたらいいのかわからない」など漠然とした不安を抱えているあなた、どうぞおひとりで悩まずにご相談ください。専任の相談員があなたと一緒にいまの状況を整理し、あなたに合った向き合い方を考えていくお手伝いをします。

### どんな相談ができますか？

- がんと言われたけど、どうやって治療がすすんでいくのか心配です。
  - 他の病院での治療法も聞いてみたいです。
  - 抗癌剤をやることになり脱毛が心配です。専門的な情報が知りたいです。
  - 乳がんで乳房全摘することになりました。おっぱいの膨らみや乳首など見た目について聞きたい。
  - 残された時間が短いと言われました。家族として本人とどうやって向き合えばいいですか？何から準備を始めたらいいですか？
  - もう歳だから何もしたくないんです。手術や抗癌剤なんてしたくないんです。
  - このまま死ぬのを待つのは嫌なんです。できることがあるなら何でもやりたい。がんには負けたくないんです。
- など、患者さん、家族にとっての心配事、気がかり、不安をはかりしれません。



### がん相談支援センターのご案内

#### 相談日時

月曜日～金曜日 | 祝日は除く  
午前 9:00～12:00  
午後 1:00～4:00

#### 受付方法 | お電話

受付時間 | 月曜日～金曜日  
14時～16時30分  
0587-32-2111 (代表)

#### 受付方法 | WEB



自宅で生活  
していきたい

家族には  
迷惑を  
かけたくない

3ヶ月おきに予約を取り、相談室を利用している患者さん

―老いること  
―病気との共存―



きっかけは、がん治療中のご自身のこれからについて悩んでいたとき、当院のホームページをご覧になり、『自分にとってACP、がん相談支援センターは、必要だと感じたため。』予約を取られたそうです。ご本人の想いは、子供は独立して遠方にいるが、自宅でこれからも生活していきたい。そのためは、いまからできることはないか？教えてほしい。動けなくなってからは遅い。いまでは3ヶ月おきに定期的に予約をして、最近は、「簡単にバランスよく食事が取れるように惣菜に手を加え、野菜中心の和食にしている」ことや、「趣味から広がるコミュニティ」のことなど、近状報告の談笑からはじまり、いま抱えている悩みをお話しされました。近くに家族がいないため、ものが言えなくなったときどうするかなど。メモをとりながらお話をされていました。

あなたの大切にしていることを大切に考えていきます。

「もしものときに備えてあなた自身が希望する医療やケアについて、あなたの信頼する家族や医療者と一緒に、どこでどのような医療ケアを望むか、最期の過ごし方を話し合い、共有していく過程」をアドバンス・ケア・プランニング（人生会議）と言います。



- ・笑顔でリラックスして過ごしたい
  - ・最期までおしゃべりをしたい
  - ・痛みや苦しみがないようにしてほしい
- などカードを通じて自分や家族の思いを知ります。

当院では地域のACPの普及・啓発のためカードゲームを使用しています。カードゲームを経験された方から「こういうことをもっと早く話し合っておけばよかった」、「長生きしていく上で大切なことだね」などの声が聞かれました。院内ワークショップ（年3回）や市内の催事などでも企画し、地域で参画できるように病院から発信しています。3月の研修会では、院内職員、地域施設職員対象にACP倫理研修会を計画しています。